

木村 僖乃 会長 より

皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年の夏は記録的な猛暑となりましたがご健勝のことと思います。

10 月 19 日、秋晴れの下、桜栄会研修会を開催いたしました。本年度の講師は西山哲生先生です。身長 181 センチ、優れた姿勢でたたずまいのよい先生で、体重管理のためマラソンにも精力的に取り組まれており、管理栄養士としての自己啓発を体現されたお姿に、深い敬意を抱きました。

講演の特筆すべき点は、味覚を通じた実践的な学習です。在学生 3 名を指名され、出汁の素、羅臼昆布、利尻昆布を用いた昆布だしの味比べを実演。さらに参加者全員で、天然ワカメと養殖ワカメの味比べを行い、食材の本質的な違いを五感で学びました。この体験型の講演手法は、単なる知識伝達ではなく、管理栄養士に求められる「味への信頼」がいかに重要であるかを我々に示すものでした。食材の真の味を知ることが、患者様や利用者からの信頼につながり、説得力ある栄養指導へ結実することを強く感じました。さらに、西山先生は、事故が発生した際に「その責任は人が担う」という言葉を強調されました。管理栄養士としての職業的責任の重さ、そして自分の判断と行動に対する覚悟を持つことの大切さを、参加者に深く問いかけるものでありました。

また、若手卒業生による活動報告も研修会を彩りました。急性期病院に勤務する山本月香さんからは、調理員との関係構築や多職種連携の重要性等、患者様からの「美味しかった」との言葉が何よりの励みであるとお話しをいただきました。特別養護老人ホームに勤務する中村真美さんからは、栄養ケアマネジメントや食形態調整など、ご報告いただきました。施設入所者の 1/3 が来年の桜を迎えられないという現実の中で、園長先生の「一瞬の笑顔のために私たちは働くんだよ」というお言葉は、参加者の心に深く刻まれました。

茶話会は、4 つのグループに分かれて懇談しそれぞれ有意義な話ができたとです。今年の研修会は、卒業生の参加は限定的でありましたが、在学生の積極的な参加で、充実した会となりました。西山先生の実践的な指導を受けた在学生たちが、やがて栄養学科の担い手として社会に貢献していくことを期待いたします。

多くの皆様のご参加とご協力をいただき、感謝申し上げます。桜栄会が世代を超えて、卒業生の絆を深め、相互の成長を支援する場であり続けることを願っております。



ホノルルマラソン
2025 年 12 月
女子年代別 第 1 位!

研修会 (栄養学科シンポジウムと同時開催)



3 名の卒業生から、フードサービス、病院、高齢者福祉施設の立場でご活躍されている様子について、お話いただきました。

学校法人安田学園法人本部総務部事業課 安田学園サービス株式会社 西山哲生さん(H19 年卒)には、「管理栄養士に欠かせない説得力の磨き方～味への信頼と人からの信頼」と題してご講演いただきました。講演



を聴いて、様々な経験が味への信頼になり、それをもって働くことが人からの信頼を得ることに繋がるのだと感じました。そのためにも、実際に食材を食べてみたり、料理に使ってみたり積極的に食材や人と関わるのが重要だと知りました。

また、働いて得た失敗も経験にして、反省点を考え次に繋げている姿勢が印象的でした。これからは、いろいろな食材や物事に挑戦して、味を知り、食を通して信頼を得られる人物を目指していきたいと思います。

山本月香さん(R5 年卒、総合病院山口赤十字病院栄養課)のお話を聞いて、栄養面だけを重視した治療を行うのではなく、患者さんの嗜好や病態に応じて食べられるものを一緒に探しながら治療を行っていくことが大事だということが印象に残りました。また、食事の指導を行う立場として食べ物についての知識を身に付けておくことも管理栄養士として欠かせないことだと再確認することができました。日頃から自分が口にしていくものについて知っていくことへの意識を高めていこうと思いました。



中村真美さん(R5 年卒)は特別養護老人ホーム オアシスはぎ園で管理栄養士として働いておられます。日々の業務内容や施設管理栄養士としてのやりがいなどについてお話を伺いました。また、月に1度の行事では、自由に外出できない利用者さんに、日常とは異なる刺激や楽しさを感じていただくための工夫についても教えていただきました。食事は単なる栄養補給ではなく、楽しみや生きがいそのものであることから、正解のない選択の中で、利用者さん本人やご家族に寄り添いながら、その方の人生に向き合う姿勢が大切であると学びました。

栄養学科3年 野村・西山・三吉

茶話会

今年度も研修会の後に、桜栄会会員と在学生を交えて茶話会を開催しました。学生にとって、先輩方から直接お話が聞けたことは、貴重な機会になったと思います。西山さんが準備してくださった昆布だしやワカメの試食をして、皆で味の違いに驚きました。



参加者の感想

移転した北キャンパス(食堂)での開催、10年ぶりの参加ということで、この日をとても楽しみにして山口に向かいました。お互いに仕事の話は深くしない同期の西山くんによる講演では、給食事業の管理職は大変ではあるものの、他者を巻き込みつつ自分が目標とする成果を達成するやりがいを感じました。シンポジウムの山本さん、中村さんの講演では、一人ひとりに向き合うこと、一つひとつの時間を大切にする事の大事さと、これを続ける難しさを改めて考えさせられました。お世話になった先生方や新任の先生方との交流、約18年ぶりの同級生との思わぬ遭遇等、非常に楽しいひと時でした。同窓生の皆さんも同期が講演する際はぜひご参加を！

平成19年卒業 神崎さん

事務局よりお知らせ

現在使用している桜栄会事務局のメールアドレスが、令和8年3月末で使えなくなります。したがって、今後は担当 兼安宛 kaneyasu@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp にご連絡くださいますようお願い申し上げます。また今年度より、桜栄会からの連絡方法を郵送からメール配信に切り替えています。メールでの連絡が可能な方は別紙の二次元コードから、メールアドレスをお知らせください。

編集後記

今年度の桜栄会行事は、講師が二度目の出演という初めてのケースとなりました。その間16年の西山氏の成長がりとんでもなくもしく感慨無量でした。こんな感動と最高の楽しみを与えてくれる桜栄会はやっぱりすごい！と素直に思いました。卒業生の皆さん、在学生の皆さん、「いつかは自分も！」と続いてくださることを祈ります。では、よい新年をお迎えください。 乃木

